

## 市政の動き

### 6月定例市議会

## 市長総括説明から

6月6日、第3回市議会議例会が開会され、冒頭、市長から所信表明及び市政運営方針について説明がありました。その概要をお知らせします。

### 『未来への責任』

私たちのまちが今日あるのは、過去における未来に向けた弛まざる努力のお陰であり、そのことに感謝しつつ、私たちもまた、将来世代のために精一杯の努力を続けていかなければなりません。

思えば、合併自体が未来への責任を果たすための不可欠の選択であり、「今日の利益」のためではなく「明日の利益」のためとの共通理解が事をスムーズに運ばせた要因でもありました。

残念なことに、合併準備中の昨年の台風23号では、全域にわたり大きな被害を受けました。美しかったふるさとと市民の暮らしを一日も早く

取り戻すとともに、安心安全なまちづくりに全力を尽くします。また、合併した6つの

まちの、それぞれの自然や歴史・文化・伝統を大切にしながら、特色あるまちづくりに相互の連携を強めていきます。新市の全域を公平な目で見るとともに、人と人とのふれあいやコミュニティ活動を通じて、自立した地域づくりを進めます。人口規模は小さくても、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち、『小さな世界都市』を目指したいと考えています。

### まちづくりの方向と

#### 本年度の主な施策等

#### 災害復旧・復興の推進

(安全・安心のまちづくり)

台風災害により傷ついた「ふるさと」を再生し、市民の皆さんが一日も早く元の生活を取り戻せるよう、災害復旧・復興事業の推進に全力をあげます。

また、総合的な治水対策や森づくりの促進、防災計画の策定、危機管理研修、防災訓練などを実施し、安全安心の

まちづくりを進めます。

なお、「豊岡市被災者生活再建支援基金」を創設することとし、今市議会に係関係条例を提案しています。

#### 新生豊岡市の指針づくり

新生豊岡市の目指すべき都市像と、都市像実現のための戦略及び具体的な施策をまとめた「総合計画」を、平成18年度末を目指し策定します。

また、旧城崎町・旧竹野町・旧但東町の区域が引き続き過疎地域の対象となることから、平成21年度までの後期5カ年の「過疎地域自立促進計画」を策定し、今市議会に議決を得るべく提案しています。

さらに、効率的で持続可能な行政運営を可能にするための指針となる「行政改革大綱」を平成18年度秋を目途に策定します。

#### 元気な経済の創生

自治体財政が依存から自立へと強く求められている今日、市民が生活の糧を得、豊かな暮らしを継続するために不可欠な地域経済の活性化は、行政課題としてこれまで以上に

重要性を増しています。元気な経済の創生に全力をあげます。

環境を良くする取り組みと経済活動が相互に刺激し、高めあっていくまちの実現、食と観光の基盤となる活力ある農林水産業の確立、地域特性を活かした「ものづくり」の支援、観光振興事業の推進のほか、グリーンツーリズムの推進、農産物認証制度の普及や学校給食との連携など、地産地消の促進を図ります。

#### 豊かな環境の創造

コウノトリも生きていけるような環境は、私たちにとてもすばらしい豊かな環境です。次世代に引き継いでいくことのできる豊かな環境づくりを進め、シンボルとしてのコウノトリの野生化、ごみの減量化、河川や水田・水路等の自然再生、自然エネルギーの積極的な導入、有機農業の普及・促進を図ります。

#### 心身の健康づくり

心身ともに健康であることは、私たちの何よりの願いです。旧市町で取り組んできた

健康づくり事業の推進と健康福祉施設相互の連携を図るとともに、旧豊岡病院跡地に健康づくりの拠点施設を整備するよう検討を進めます。

また、地区公民館を利用した健康づくり事業の実施、健康増進につながる市民農園の充実・拡大、のじぎく兵庫国体の開催準備、市民スポーツ活動の充実に取り組みます。

#### 健やかな子どももの育成

家庭・地域・学校・行政が共に手を携え、明日を担う子どもたちを温かく見守り、心身ともに健やかな成長を促します。多様なニーズに対応した子育て支援の充実を図るとともに、学力の実態把握と指導法の改善、読書活動、体力づくり、不登校ゼロを目指した取り組み、「教師のトライヤル」などを推進します。

#### コミュニティの醸成

日々楽しむまちづくり

市民が芸術・文化に親しむ機会の提供、市民の自主的な芸術文化活動への参加を促す等、一人ひとりが豊かな歴史・伝統や薫り高い文化にふ

れ、日々人生を楽しむことのできるまちづくりを進めます。また、市民の身近な学習拠点である地区公民館の活動がより活性化するように、地域事情に合わせた地区公民館の整備を行います。

### 共生のまちづくり

家庭や地域のなかで、障害の有無や年齢にかかわらず、一人ひとりが生きがいを持って安らぎのある生活ができるよう、思いやり、支え合い、共に生きるまちづくりを進めます。

また、バリアフリーのまちづくり、市民の社会参加のしくみづくりを進め、あわせて女性の登用を図ります。

### 交流基盤の整備

市民が夢と希望を抱き、魅力あふれ、活力ある地域づくりを進めるため、道路・交通網をはじめとする交流基盤の整備促進に努めます。

### 市政の運営

市政の運営にあたっては、「対話と共感」を基本に据え、市広報、市ホームページ、コ

ミュニティFM、防災行政無線などによる市政情報の提供のほか、市政懇談会や出前講座の開催、市民の自主的な活動の育成支援などを通じ、市民・団体・事業者などの参画と協働のもとに市政を推進します。さらに、行財政改革の推進による効率的・効果的な行政運営、健全な財政運営を図り、信頼される市役所づくりに努めます。

また、本庁各部署と総合支所との連携を図るとともに、各総合支所では、地域特性を生かしたまちづくり事業を展開します。

老朽化した市役所本庁舎の建設についての検討を進めるとともに、あわせて「庁舎建設基金」を創設するべく、今市議会に提案しています。

### 当面する懸案事項及び諸般の報告

豊岡市個人情報保護条例の制定

対象とする個人情報範囲を電子計算機処理情報からマニュアル処理情報まで拡大するとともに、自己情

報コントロール権を保障する制度を制定します。

豊岡市国民健康保険税条例の一部改正

国保税の大幅な引き上げにならないよう、不均一課税による税率を旧市町ごとに調整します。これに伴い、本年度を含めた向こう3年間は、調整段階のため、地域ごとの格差が生じます。豊岡市福祉医療費助成事業の見直し

この事業は県市の協調により行っているもので、県において福祉医療制度が見直されたことに伴い、本市も助成事業を見直します。

災害ごみ処理

昨年の台風23号により発生した災害ごみは、去る5月30日に搬出処理を完了しました。ごみの総量は、約35,900トン、処理に要した経費は約11億6千万円です。

広域ごみ・汚泥処理施設整備事業の進捗状況

当面の課題としては、「PF I可能性調査」、「一般廃棄物処理基本計画策定」、「精密機能検査」であり、

現在、北但行政事務組合で精査されています。

予定地の日高町上郷地区では、先進地視察の実施や適地選定経過を中心とした施設概要について、計7回の説明会が開催されました。コウノトリ但馬空港フェスティバル

4月、アクロバット飛行訓練中に死亡事故が発生しました。しかし、但馬地域を代表するイベントとして定着しており、また、但馬大阪路線の利用率が上昇している中であって、継続開催に向けて協議を進めています。

円山川緊急治水対策の進捗状況

昨年12月27日、国土交通省の「河川激甚災害対策緊急特別事業」が決定され、平成26年までに、円山川緊急治水対策を実施することになりました。総額事業費は約900億円で、うち平成21年までに行う激特事業費は650億円となっています。

整備事業は3期に分けて実施され、第1期事業のう

ちの破堤箇所立野地区、鳥居地区築堤を始め、堤防高上工事や無堤坊の築堤工事1カ所については、出水期に入る6月15日までに完成予定となっています。

また、河川情報タツチパネルが本庁舎ほか5カ所に設置され、河川画像や内水位情報の提供が行われます。さらに、去る4月26日には、「円山川下流部治水対策協議会」が沿線の関係機関、地元代表により設立されました。

災害復旧事業の進捗状況  
昨年の台風23号による公共土木施設災害は666件あります。出水期を控え、緊急度の高い箇所から発注を進め、上半期100パーセントの発注を目指します。

農地・農業用施設については、できるだけ多くの農地において今年の作付けができるよう、復旧工事の発注をしてきました。

山地災害復旧事業については、林地崩壊防止事業90・0パーセント、県単独治山補助事業は30・0パーセントの発注率です。